

ノダイオウ		<i>Rumex longifolius</i> DC.	絶滅危惧Ⅰ類
環境省絶滅危惧Ⅱ類			タデ科
選定理由	現在確認されている生育地では生育条件が悪化しつつあり、個体数が激減している。	写真(岐阜県博物館) 標本	
形態の特徴	多年草草本、高さ60-120cm。茎の葉は大きく無毛、基部はふつう円形。果柄に関節がある。		
生態的特徴	河川敷・道端・畑地などの湿った草地に生育している。		
分布状況	本州の近畿地方以北と北海道に分布している。岐阜県では飛騨地方に分布している。		
減少要因	生育地の乾燥化など生育条件の悪化による。		
保全対策	生育地の草地の乾燥化などの生育条件の保全。		
特記事項			
参考文献			

文責：須賀瑛文